

## 平成26年度施設管理に対する評価シート

### ◎基本情報

#### 管理施設

①施設名	阿倍野区民センター
②指定管理者名	一般財団法人 大阪市コミュニティ協会
③評価対象期間	平成26年4月1日 ～ 平成27年3月31日
④指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成28年3月31日
⑤所管課・担当	阿倍野区役所企画調整課地域担当（電話：06-6622-9787）

#### 管理運営業務等の概要

①業務概要	市民のコミュニティ活動の拠点として阿倍野区民センターにおける貸し館業務にかかる維持管理
②利用状況の概要	施設年間利用率 67.8% 施設利用人員 200,630人
③施設の設置目的・目標 (成果指標)	【設置目的】 区民センターは「コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与する」ことを目的としている。
④年度目標	施設の目的に沿った事業を行い、利用率を60%以上に保つとともに、安全な管理運営を行う。

### ◎管理運営の実施状況

#### 1 施設の設置目的の達成及びサービスの向上

①施設の管理運営状況（管理運営方針・手法に沿った施設の維持管理の状況、平等利用の確保、職員の体制、危機管理・安全管理業務等の実施状況）	職員配置状況については、出勤ローテーション表で確認する等随時適正な状況を保ち、危機管理体制についてはマニュアルを活用する等、施設の管理運営としては概ね適正と判断できる。 また、利用率も67.8%と、目標を達成している。 その上、大型館に見られるホール等の利用競合についても公正な抽選方法を確立する等、安定した運用を実施している。
②事業計画の実施状況（計画に沿った事業実施、サービスの質、利用促進のための取組みと効果、利用者満足度の把握・反映状況、自主事業等の実施状況）	各種自主事業については、開始時期が当初の計画より後にずれ込むものがあつたものの、概ね順調に実施されている。区内の学校等と連携した吹奏楽フェスティバル等の開催や、各種講習関係の事業を実施する等、利用者に充実したサービスを提供するための取組みを実施している。 事業実施内容については事業報告書参照。
③施設の有効利用（他施設との連携状況、地域との連携状況、市民・NPOとの協働状況等）	上述の吹奏楽フェスティバルのように区内の学校等と連携した事業や商業施設や学生、各種団体と連携した「あべのコレクション」等の事業を実施。また、区の防災事業とも連携し、多くの区民の方が参加できる催しを実施する等、施設の有効利用に努めている。

#### 2 市費の縮減効果（収支状況）

①収入・支出状況	事業報告並びに収支報告書を参照
②市費縮減に係る取組み状況	通信運搬費等の事務費の縮減及び電球の間引き・LED化をすすめる等による節電

3 社会的責任・市の施策との整合等

<p>環境への配慮、就職困難者の雇用への取組み、個人情報保護に関する取組み等の実施状況</p>	<p>環境への配慮として、ごみ箱の数を減らす、再生紙を使う、両面コピーの徹底、PDF化、ごみの分別等実施。          正規職員として就職困難者を1名雇用している。          個人情報については、施錠できる場所に保管する等の取組みを実施。</p>
---	--

4 その他（点検等における要改善項目の対応状況、その他特筆すべき事項等）

<p>①評価項目概要</p>	<p>1年ぶりの指定管理ということになるが、概ね安定した管理運営が行えていると考える。年度当初は、自主事業や保守点検等について、実施日が不明なもの等が見られたが、徐々に内容を確定していき、最終的には概ね予定通りの事業及び保守点検が行われている。必要な書類等については、これまでの活動実績に基づくノウハウもあり、年度当初から適切に作成されている等、安定した運営が行われている。</p>
<p>②上記についての成果や望まれる対応等</p>	<p>業務指導等について適格な対応が見られる。その上、これまでの活動実績に基づく地域との緊密な関係から、区役所附設会館の本来の設置目的である「コミュニティ活動の振興」及び「市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進する」という点について、安定的な運営が行えているといえる。もっとも、前例踏襲に寄り過ぎる部分もあるので、新たな団体等と関係性を築いていく等、活動の幅をさらに広げていくことが望まれる。</p>

## ◎評価

### 1 所管所属による1次評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	指定管理者が変更となって初年度であるが、平成26年度における利用率は、昨年比1.5ポイントの増加となっており、施設の設置目的であるコミュニティの拠点としての役割を果たすための努力の成果が出ているものといえる。	B
②市費の縮減効果に対する評価	光熱水費について、利用率の増加及び消費税の増税にもかかわらず、節電やLED化をすすめる等の取組みにより、前年度と比較して200,000円以上の縮減を達成しているなど、市費の縮減について一定の評価ができる。	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	ごみ箱の数を減らす、再生紙を使う、両面コピー、PDF化、ごみの分別等環境への配慮を行い、就職困難者の雇用についても達成する等、一定の評価ができる。	B
④総合評価	必要な書類等を適切に作成し、自主事業や保守点検等についても比較的スムーズに行えている等、概ね安定した館運営を行えている。その上、地域で活動されている人や団体との関係性も良好で、区役所附設会館の本来の設置目的である「コミュニティ活動の振興」及び「市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進する」という点についても概ね達成できている。 もっとも、安定感がある反面、新たな取組みへの自発的な発想や行動力にやや欠けているので、今後はさらなるコミュニティ活動の振興に資するような運営に期待したい。	B

### 2 外部専門家等の意見

<p>まず、利用率の向上に改善が見られる点が評価できる。もっとも、施設管理面における改善を検討するなど、さらなるサービス向上に期待したい。</p> <p>自主事業については、「あべのコレクション」等の意欲的な事業を始めていること、その他様々な年代や趣味の方に合う事業を行っていることは評価できる。今後はさらに多様な事業展開、特に阿倍野らしさを強調できるような事業を展開してほしい。</p> <p>コミュニティの拠点である区民センターの指定管理者として、地域と良好な関係性を築いているが、今後はさらにNPO法人との協働についても取り組んでほしい。</p>
--

### 3 所管所属最終評価（太枠にS・A・B・Cの四段階で評価を記入）

①施設の設置目的の達成及びサービスの向上に対する評価	平成26年度における利用率は、施設の利用チラシの作成等により、前年比1.5ポイント増加したことは評価できる。もっとも、施設管理面における改善についても検討するなど、さらなるサービス向上を求める。	B
②市費の縮減効果に対する評価	節電やLED化等に伴う取組みにより、前年度と比較して光熱水費の削減が図られた。また、通信運搬費等の事務費の削減等についても評価できる。	B
③社会的責任・市の施策との整合等に対する評価	正規職員として就職困難者を1名雇用しており、また、環境への配慮や個人情報等の管理等についての取組みについて評価できる。	B
④総合評価	平成26年度から指定管理者に指定され、概ね安定した管理運営が行われた。平成26年度における利用率が前年度より増加したことは大いに評価され、今後も利用率がさらに向	B

	上するように、自主事業やサービス向上について新たな取組みを検討されたい。	
--	--------------------------------------	--

- 評価の基準
- S…事業計画又は本市の定める水準の想定を大幅に上回る効果が得られた
  - A…事業計画又は本市の定める水準で想定した以上の効果が得られた
  - B…おおむね事業計画又は本市の定める水準どおりの効果が得られた
  - C…事業計画又は本市の定める水準で想定した効果が得られていない

※ 施設の管理運営に関して過失による事故や協定違反等による改善指示、指名停止措置（平成 25 年 4 月から「参加停止措置」）などのペナルティを受けた場合は、当該項目と総合評価については原則としてCとすること